予稿原稿（口頭発表）

予稿原稿（ポスター発表）

予稿原稿（実践論文）

**HCD研究発表会サンプル原稿**

〇人間 太郎\*1　中心 花子\*2　設計 次郎\*1

**The Sample Manuscript for HCD Conference**

Taro Human\*1, Hanako Center\*2, and Jiro Design\*1

Abstract - This paper describes the way how to write your manuscript for the Transactions of Human Centered Design Organization. Write this abstract in English in approximately 100 words, attaching a maximum of five keywords.

Keywords: keyword 1, keyword 2, keyword 3, keyword 4, keyword 5

# はじめに

このサンプル原稿は、人間中心設計推進機構が主催する研究発表会で行われる、「口頭発表」「ポスター発表」「実践論文」の3つの区分の発表で事前に投稿いただく「予稿」のテンプレートです。本「サンプル原稿」自体に、書式が設定されていますので、必ずこのファイルを使って予稿を執筆してください。題目、本文、参考文献、図表のキャプションなどについては、「書式」を適用してください。

本サンプル原稿は、第2章に実践論文に投稿する方に考慮いただきたい事項をお示しします。第3章以降はすべて執筆者にお読みいただく内容です。

# 実践論文の留意点

\*1：人間中心大学大学院工学研究科

\*2：人間中心株式会社中央研究所

\*1：Graduate School of Engineering, HC University

\*2：Central Research Laboratory, HC LTD.

本章では，実践論文の執筆に関する留意点を示します。

## 実践論文の目的

HCD研究発表会における「実践論文」は、企業や団体、グループ、個人などでの取り組み事例や萌芽的な提案を、研究発表会の参加者に対して「気軽に」共有することを目的とします。

予稿は1ページから投稿いただけます。研究発表の約束ごとである先行研究への言及も必要ありません。一般的な研究発表に求められる、新規性、妥当性（有用性）、信頼性に関する表現は、記述されているに越したことはありませんが、まずは、実践事例を皆で共有するという点に主眼が置かれているので、気軽に投稿してください。

## 予稿に盛り込むべき内容

とはいえ、効果的に情報を共有するために、最低限、執筆していただきたいことがあります。以下の内容に関しては、十分に説明をしてください。

### 実践の背景

共有したい実践の背景について、言及してください。どのような状況で、どのような課題があり、どう解決したかったのか。あるいは、実践の目的はどのようなものであったのかなどを、背景情報として紹介してください。

### 実践の概要

実際に実施した人間中心設計（HCD）に関する取り組みについて、実践の概要を紹介してください。どのような手順で実施したのか、規模はどの程度だったのか、いつ実践したのか、どのような体制で実施したのかなど、実践者の工夫を凝らした点なども、積極的に記述するようにしてください。定性的な記述にとどまらず、数値を用いて定量的に記述できれば、より有用な情報となるでしょう。

### 実践の効果と新たな課題など

実践の結果がどうなったか、どのような効果が得られたのかなども有益な情報です。もし取り組みが失敗に終わったとしても、失敗の原因を追求しそれを明らかにすることは有用な情報になり得ます。失敗事例の発表も歓迎します。

実践後に新たな課題が発覚したという例があれば、ぜひ共有してください。HCDサイクルと同様に、課題の発見、実践、効果検証、新たな課題の発見と、サイクルを回すことが重要です。研究発表会における実践論文カテゴリでの発表と議論も、そのサイクルの一部として活用してください。

## 研究会での発表

研究会では、スライドを用いて発表いただきます。その際には次の点にご注意ください。

### 発表時間の厳守

概ね一人当たり、発表15分、質疑応答4分（予備1分）が割り当てられます。割り当てられた発表時間内に必ず終了します。超過は認められません。

### 予稿に示した内容の発表

原則として、予稿に示した内容を発表します。予稿提出後に新たに明らかになった知見を加えても構いません。

### 営業行為の禁止

実践論文の区分では発表者の業務の過程での知見を、学術研究の場において発表いただきます。営業行為と見なされないための配慮をお願いします。具体的には製品、サービス、著者や所属組織などの宣伝とみなされる発表はなさらないでください。

### 著作権侵害の禁止

予稿同様に、発表に使用するスライドでの著作権の侵害にご注意ください。写真、図版を掲載する場合には、出典の掲載とともに著作権を有する者から掲載許可を得ることが必要です。

## 実践論文の留意点，終わりに

現在のところ、実践論文は口頭発表を想定していますが、ポスター発表で実践報告を行うことは妨げません。会場で対話的に実践報告を望む発表者は、ポスター発表を選択してください。皆様の積極的な発表をお待ちしております。

# 原稿の体裁

すべての区分において、このサンプル原稿を使って原稿を執筆ください。Microsoft Word（以下MS-Word）以外のワードプロセッサをご使用の方は、体裁がなるべくこのサンプルと近くなるよう原稿を作成ください。

A4用紙の（US Letterは不可）、縦250mm、横170mmの枠内に収まるようにしてください。余白は、上20mm、下15mm、左20mm、右20mmとします。

活字の大きさは、日本語タイトル16.5ポイント（ゴシック体）、著者名14ポイント（明朝体）、英文タイトル12ポイント（Times New Roman、太字）、著者名12ポイント（Times New Roman）を、また、章、節のタイトルは9ポイント（ゴシック体）、本文は9ポイント（明朝体）を目安としてください。

ゴシック体で指定した箇所の英数字はArial、明朝体で指定した箇所の英数字はTimes New Romanにしてください。ただし、英文原稿の場合は章、節のタイトルは9ポイント（Times New Roman、太字）にしてください。

なお、本文は「両端揃え」にして、右端も揃えるようにしてください。

# 題目など

本章で，題目や著者，所属などの書き方を示します。

## 題目

和文原稿の場合は、和文題目と英文題目を併記してください。英文原稿の場合には英文題目のみを記載してください。

## 著者

和文原稿の場合は、和文著者名と英文著者名を併記してください。発表者に〇印を付けてください。英文原稿の場合には英文著者名のみを記載してください。英文著者名は、名姓の順とし、それぞれ先頭の文字のみを大文字にしてください。

## 著者所属

和文原稿の場合は、和文著者所属と英文著者所属を併記してください。英文原稿の場合には英文著者所属のみを記載してください。記載には、該当著者の右肩に\*1,\*2,…などをつけ、第1頁左下に脚注としてそれぞれ記載してください。

## 英文要旨

英文要旨は論文の内容を簡潔にまとめた100語程度で記載してください。

## キーワード

論文の内容を表すキーワードを英語5個以内で記載してください。

# 本文

本章で，本文や見出しなどの書き方を示します。

## 文章

和文原稿の文章は「である」調の口語体とし、特に英文もしくはカタカナ書きを必要とする部分以外は、現代かなづかいによる漢字かなまじり文としてください。外国の固有名詞は原則として原語綴りとします。

## 用語

HCD関連の用語のカタカナ書きについては「HCD重要用語のカタカナ表記ガイドライン」  
（https://www.hcdnet.org/hcd/column/hcd2013.html）に原則従うようにしてください。

## 見出し

本文の区分けはポイントシステムによる記号を用いて、章見出し「1.、2.、…」、節見出し「1.1、1.2、…」、項見出し「1.1.1、1.1.2、…」などとしてください。なお、章見出しは2行分を使用し、中央配置してください（見出し等にはスタイルを設定してあるのでご活用ください）。

## 文章の区切り

文章の区切りにはピリオド「．」または句点「。」を、句の区切りにはコンマ「，」または読点「、」を用い、1字分をあててください。どちらの方式を用いても結構ですが、「ピリオド・コンマ（．，）」、あるいは「句点・読点（。、）」に統一してください。なお、各段落の最初は1字分をあけてください。

# 数式など

本章では，数式や定義の書き方を示します。

## 数値・単位

単位は原則として国際単位系（SI）、数値はアラビア数字を使用してください。

## 数式

原則として、すべての数式に式番をつけてください。式番は通し番号とし、(1)、(2)、…のように表します。参照する場合は(1)式、(2)式、…、Eq(1)、Eq(2)、…とします。分数式は、式として独立したものは

(1)

のように改行して書きますが、本文と同じ行の場合には(a+b)/(c+全体)のように書いてください。

## 定理・定義・補題

定義、定理、補題などの番号は通し番号とし、【定義1】、【定理1】、【補題1】、…のように表します。参照する場合は括弧を取り、定義1、定理1などとします。

# 図・表

本章では，図表と見出しなどの書き方を示します。

## 番号

図、表の番号は、それぞれ、図1、図2、…、表1、表2、…のように通し番号としてください。写真は図として扱います。

## 見出し

図の場合にはその下に、表の場合にはその上に、番号とともに見出しを入れてください。和文原稿の場合には、日本語の見出し、英語の見出しの順に両方を入れてください。英文原稿の場合には、英語の見出しのみを入れてください。

## 引用

本文中で図、表を引用する場合には、和文原稿の場合、図1、図2、…、表1、表2、…とし、英文原稿の場合は、Figure 1、Figure 2、…、Table 1、Table 2、…とします。

## サイズ

図、表の刷り上がり寸法は、横幅8cm以内（片段）と横幅17cm以内（両段）の二通りとします。図や表中の文字は小さくなりすぎないよう気をつけてください。

## 図、表の例

図と表の記載例をこの「HCD研究発表会サンプル原稿」中に示します（図1、および表1参照）。



図1　楕円と五角形

Figure 1 Ellipse and Pentagon

表1　図形の辺と頂点

Table 1 Sides and Apices of Figures

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 図形 | 辺の数 | 頂点の数 |
| 三角形 | 3 | 3 |
| 五角形 | 5 | 5 |
| 楕円 | なし | なし |

# 脚注

脚注は本文の一部分として作成してください。

## 引用

引用は引用箇所の肩に1,2,3,…あるいは、\*,\*\*,\*\*\*,…†,‡,§,¶などと付け、出典等を脚注に示してください。

## 脚注の記載

脚注は、本文の下に境界を表す横線を引き、その下に記載してください。なお、脚注[[1]](#footnote-1)も原稿の枠内に書いてください。

# 文献の参照と一覧

参考文献は本文の一部分として作成し、最終章、謝辞の後に記載してください。なお，参考文献と謝辞の見出しは慣例として見出し番号を付けません。ご注意ください。

## 参照

参考文献の参照は参照箇所に[1]、[1], [3]、[1]～[3]などとつけてください。

## 文献の記載

参考文献は本文の末尾にまとめてください。雑誌の場合は、著者名、題目、雑誌名（略記にて可）、巻、号、ページ、発行西暦年を、書籍の場合には、著者（または編者）名、書名（編者）、発行所、ページ、発行西暦年の順に記載してください。なお、著者（または編者）名の後はコロン「：」、題目の後はセミコロン「；」、そのほかはカンマ「，」で区切り、発行西暦年は小括弧「（）」で囲んでください。また、英文の書籍名、雑誌名は斜体にしてください。

著者（または編者）名は、和文の場合、姓名をカンマ「，」で区切って記載してください。著者が多い場合でも省略せずに、すべての著者名を列挙してください。英文の場合には、「姓、名のイニシャル」の羅列とし、カンマ「，」で区切ってください。著者が多い場合でも、和文の場合と同様に省略せずにすべての著者名を列挙してください。

# 謝辞

研究の遂行や論文の執筆にあたり、明確な貢献がある人、組織、利用した研究助成などがある場合のみ、謝辞を掲載することができます。この「原稿執筆の手引き」を作成するにあたり、ヒューマンインタフェース学会の原稿執筆の手引きを参考にさせていただきました。ここに感謝の意を表します。

# 参考文献

1. 人間中心設計推進機構: 人間中心設計推進機構 機構誌 投稿規程; 人間中心設計, Vol. 19, No. 2, pp. 11-12 (2023).
2. 人間中心設計推進機構: 人間中心設計推進機構 機構誌 投稿規程; 人間中心設計, Vol. 19, No. 2, pp. 11-12 (2023),   
   https://doi.org/10.34404/hcd.19.2\_11.
3. Human Centered Design Organization: *HCD-Net Submission Rules*; *Bulletin of Human Centered Design Organization*, Vol. 19, No. 2, pp. 11-12 (2023), https://doi.org/10.34404/hcd.19.2\_11.
4. 人間中心設計推進機構: 人間中心設計推進機構『機構誌』原稿執筆の手引き;   
   https://www.hcdnet.org/research/, 参照 2024-03-05.
5. Human Centered Design Organization: *Guideline of Writing Manuscript for the Human Centered Design Organization*; https://www.hcdnet.org/research/, accessed 2024-03-05.

1. 脚注は脚注機能を使ってください。 [↑](#footnote-ref-1)